



長 崎 県

中小企業家同友会

DOYU

ニュース 21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎ (095) 822-0680 FAX (095) 824-4623

「私たち中小企業家が長崎を牽引していく！」

～ 経営を極めていく企業家集団 会勢 700 名を達成しよう ～



代表理事

松 尾 慶 一

迎 春

明けましておめでとうございます。会員の皆様、ご家族様、社員の皆様へ本年が更により良い年となりますように、新春にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。また平素より同友会活動に対しまして深いご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。そして

長崎県をはじめとする行政機関、各種団体や金融機関各位、さらには新聞社やテレビ局に於かれましても交流の場を増やした結果、暖かいご支援をいただけるようになりました。名実共に長崎同友会が地域の中で必要とされ評価されてきたのだと思えまして感謝に堪えません。本当にありがとうございます。それでは、本年の抱負を述べさせていただきます。

■同友会ポスターによるブランディング

昨年より全ての金融機関に掲示していただきました長崎県中小企業家同友会のポスターの第2弾が完成しましたので会員さんが各地域の支店長さんを訪ねて良く見える所に張り替えをお願いして下さい。この画期的な事業を10年20年と継続していく事によって同友会のブランド力は不動のものとなります。更に会員各位の責任と義務も生じ活力へと変化します。

■第4次中期ビジョンの推進

2014年度にスタートした私たちの第4次ビジョンは、判り易く5年後を見据えて中長期的な6つの県委員会の達成目標が掲げられています。これに加えて女性部会・障がい者問題担当委員会も今年度発足しましたし、財務委員会も体制を強化し、次代を担う青年経営者会におかれましてはより一層の研鑽を積んでいただき、ダイヤモンドクラブの皆様よりご指導をいただき我々役員と共に学びを深められ第4次ビジョンを推進して参りましょう。

■全国大会の誘致決定

長崎での全国大会は、1974年の第4回全国研究集会と1988年の第16回青年経営者全国交流会だけでしたが近年いよいよ多くの皆様より是非との声上がり中同協へ名乗り出た結果、2019年中小企業問題全国研修集会の誘致を勝ち取りました。1200名規模の大会ですから皆さんの絶大なる支援を宜しくお願いします。その予行演習として、2017年に中同協役員研修会も誘致しました。これは200名規模ですが運営も含めしっかり学びたいと思います。

■仲間づくりの目標達成

杉本仲間づくり委員長の熱意で年末まで頑張って正月を600名で迎えようと決意、宣言されましたので、皆さんの協力のもと本年は600名からスタートです。年度末まで目標の700名達成に向けて邁進致します。その為に各支部・地区会の目標を達成していただけます様に仲間づくりを宜しくお願いします。

目 次

代表理事新年挨拶	1	中同協 e.doyu 担当者会議 参加報告	13
慶祝者一覧	2	会員活躍	13
12月例会報告	3	事務局企業訪問	14
第1回 景況調査報告会 開催報告	8	HP相互リンク募集	15
青年経営者会 クリスマス事業 開催報告	9	入会・復会会員紹介	16
鹿児島同友会 青年部例会 参加報告	9	2月例会案内	18
2015年度 全国事務局長会議および 新事務局長・次期事務局長候補研修交流会 参加報告 ..	10	理事会議事録 抜粋	19
第6回 九州・沖縄ブロック事務局員研修交流会 参加報告	11	会員消息・会員数	20

浦上27名、出島26名、大村14名、諫早11名
島原7名、佐世保17名、北松浦8名、五島5名。
そして、更なる800名、900名、1000名と仲間を増やして参りましょう。

3月末まで(4月15日の第45回定時総会まで)ラ

ストスパートを御願い致します。会員の一人ひとりが、是非という方を仲間づくり委員会と連携を取って春の総会を700名の会盛で迎えましょう。本年も宜しく御願い申し上げます。

2016年 慶祝対象者の皆さん (敬称略)

喜	寿	諫	早	藤	原	雅	行
古	希	長崎浦上	飛	田	政	光	
		長崎浦上	星	永	瑞	輝	
		長崎浦上	前	田	富	彌	
		長崎浦上	三	上	寿美子		
		長崎浦上	森	下	久太郎		
		長崎出島	伊	崎	孝	幸	
		長崎出島	浦	川	末	子	
		長崎出島	清	島	瑞	恵	
		諫	早	高	橋	抒	見
		諫	早	平	湯	湧	一
		諫	早	大	和	眞	澄
		五	島	米	倉	幸	枝
還	暦	長崎浦上	荒	木	健	治	
		長崎浦上	松	尾	照	美	
		長崎浦上	山	口	芳	和	
		長崎浦上	吉	澤		健	
		大	村	宇	土	敏	郎
		大	村	得	田		稔
		諫	早	平	野	泰	斗

島	原	出	田	春	喜
佐	世	保	深	町	等
佐	世	保	村	山	隆
佐	世	保	吉	村	市
佐	世	保	吉	村	元
北	松	浦	鬼	塚	秀
五	島	辻		千	穂
厄	入	長崎浦上	鹿	島	啓
		長崎浦上	西	浦	友
		長崎出島	佐々	田	剛
		長崎出島	中	村	健太郎
		大	村	中	村
		諫	早	濱	田
		諫	早	廣	谷
		島	原	北	浦
		島	原	山	田
		佐	世	保	船
		佐	世	保	前
		北	松	浦	太
		北	松	浦	日

～ 皆様 おめでとうございます!! ～

長崎支部 例会報告

日 時	12月18日(金) 18:30
会 場	長崎温泉 やすらぎ伊王島
内 容	忘年例会



会を始めるに当たり、両地区会長より今期の振り返りと来期の展望を簡潔に御話いただきました。「今後とも両地区会共に切磋琢磨し、力を併せ頑張りましょう！」

引き続き、長崎支部としては初めてとなる宿泊を伴う例会が開催されました。来期より浦上地区会と出島地区会が双方とも支部に変更されることもあり、68名もの参加者による心に残る楽しい例会と思ひ出深い懇親会だったと思います。

温泉も目の前の海と広がる空を一望できる欲張りなシチュエーション、しかも源泉かけ流し、何と言っても施工されたのが佐世保支部 村山会員。そして、この上ない流れの中でおでんから始まり新鮮なお刺身など、もろもろの美味しい料理をいただきました。出島地区会 佐々田さんによる本業のマジックも交えたスマートな進行の中、多くの会員から協賛・ご協力をいただいた素晴らしい商品での素敵なオークションも開



催されました。

懇親会終了後はカラオケ組等に別れ、カラオケ組はマイクが要らないくらいの大声の方が若干名、まあまあ寒いのに上着が見当たらない方もいらっしゃいました。懐かしい演歌に始まり最近の流行のポップスまで、皆さんとても楽しく時間を過ごされていました。

担当役員の皆さんは早くから会場に入られ、参加会員の方の思い出に残るよう、ひたすら真摯に取り組まれていました。心より御礼申し上げます。有難う御座いました。個人的には、これからたまにはこんな活気の感じられる例会があってもいいのではと思いました。来期からも会員全員で盛り上げていきましょう！！

追伸：他支部からお越しの一部の会員の方には本来長崎支部の会員が行うべき準備や後片付けを率先して行っていただき、心より感謝申し上げます。有難う御座いました。

(文責 松田 学)

大村支部 例会報告

日 時	12月17日(木) 18:30
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	困難な時代に生き残る経営者になるために ～同友会活動の中から見えてきたこと～
報 告 者	(有)金井建設 代表取締役 金井 政春 会員

「必要なのは気力・体力・人間力」力強い言葉と共に、例会は始まりました。今回は副代表理事としてたいへんご尽力なされている我が支部の金井政春さんに報告していただきました。

金井さんはその持ち前の真っ直ぐな性格と優しさゆ



えに、昔から苦勞をされてきたことも多いそうです。



信頼していた社員が一度に数人辞めてしまったことや、雇っていた社員の借金のために、裁判に立たれたこともあったそうです。それでも決して人を恨んだり憎んだりせず、人と人との付き合いを大事にしてきた金井さんの人間力の大きさに、参加者全員が感嘆していたようです。

他にも金井さんが見てきた会社の失敗例として、社内が親族ばかりで経営に甘えが出てしまい倒産してしまった会社や、社長がやり手でぐんぐん業績を伸ばしていったのにもかかわらず、人を全く成長させることができず、管理体制に問題が出てきて倒産してしまった会社などがあったそうです。

その後、「困難な時代に生き残るために何か対策をしていますか」というテーマでグループディスカッションを行いました。顧客獲得や人材育成のために、



お客さんにも社員にもわかりやすく明確に伝えることを意識している方もいれば、お客さんの要望に応えるうちにできることが増えていき、事業の幅が増えていったという意見もありました。中でも、同友会を通じて交友の輪や取引の幅が増えていったという意見がとて多く、同友会の重要性を改めて感じました。

「必要なのは気力・体力・人間力」大胆にもその結論を最初に持ってきたことに驚きましたが、その言葉には金井さんの今までの人生経験が凝縮されているようです。さらに金井さんは「同友会はこの3つを学ぶことができる貴重な場である」と言われます。この中小企業家同友会は、経営者として、人間として逞しく成長するための糧になるのだと感じた例会でした。

(文責 湯浅 徹)

諫早支部 例会報告

日 時	12月16日(水) 18:30
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
内 容	忘年例会



今回は、一昨年上映したいへん好評だったといわれている「てんびんの詩」のDVDの鑑賞を行いました。

山田支部長が営業を始めてから3年目頃に見たと



いう作品で、今でも支部長の営業の原点であるそうです。ぜひ会員の皆さんにも見てほしいと紹介されました。

作品の時代背景は、高度成長期前の日本。主人公の少年が小学校を卒業した日に、父親から売ってこない跡継ぎにはできないと鍋蓋を渡され、苦悩と挫折を繰り返しながらも母親の言葉や旅先での出会いをきっかけに商いの魂(志)を探すという内容でした。

上映が始まり、序盤はお得意先の顔見知りや親族を訪ね、逆に説教を食らったり、人の見よう見まねで何

とか鍋蓋を売ろうとする少年の姿に笑いが起きたりもしていました。しかし、少年が商いへの志を持ち、自



分のすべきことに向き合い始めたころ、会場にいた皆さんが少年の姿と自分自身の経験と重ね合わせていたようにも思います。ついに鍋蓋が売れ、母親と抱き合い、上映が終わったとき聞こえたのは、涙をすする音でした。

今回、この作品を見て私が学んだことは、商いは自分の都合で行うのではなく、人のお役に立つということです。作品の中に出てきた言葉「商いは売り手と買い手の心が一つになって成り立つ」という言葉がとても印象に残りました。改めて初心にかえることのできた感動の例会でした。

(文責 太田 陽)

島原支部 例会報告

日 時	12月14日(月) 19:00
会 場	HOTEL シーサイド島原
テ ー マ	後継者としての学び ～以前の意識と、今とこれから～
報 告 者	Rose & Co (ローズ&カンパニー) 後継者 池田 知謙 会員



12月例会は長年のオファーにやっと応えていただいた池田さんに報告していただきました。

32歳で大阪から帰郷し、今に至るまでの苦悩・取組・事業内容等を報告され、最後に20年カレンダーと今後の事業展開の話で締められました。

父がリーダーのお菓子屋さんから、母がリーダーの化粧品・サプリメント物販((株)エリナの商品)へ移行された時に仕事に就かれました。

39歳の時に同友会に入会し、経営理念として「私たちは、商品を通じて、美と健康をサポートします。」「すべてのひとが生き生きと美しい未来に向かって行けるサポートをします。」と掲げ、理念に沿った事業を進められています。今では体の外からのアプローチとして骨格調整の仕事も展開され、また平均寿命と健康年齢の差(男性で9年、女性で13年)を少しでも減らそうと努力されています。

今後の課題としては家族経営問題、パートナー(奥様)選定、売上減少の対策(スキんケア)を考えておられるようです。

今回の報告で私が一番良かったと思う事は、池田さんがどんな物をどんな方法で販売しているかが分かった事でした。島原支部では普段において自社の商品アピールが少ないようなのでよい機会だったと思います。何より他会員の商品の話を聞きたいのは私だけでしょうか。

各グループからの感想は「行動力がすごい」、(失敗されたもののエステの長崎市への出店、骨格調整事業を行う上での研修を長期に渡って沖縄で勉強された事などがあげられます。)また「ネットワークビジネスの考え方が変わった」(詳しい仕組み等の説明があり、自社でもその仕組みを取り入れたいと話す会員もいました。



た。)

ディスカッションのテーマ『なぜあなたの会社は存続していると思いますか?』については、信頼・感謝が大切だと言う意見が最も多く、地域のニーズに対応する、家族を思いやる、などがありました。

報告を受け、島原支部の若手経営者たちは「何事に

もチャレンジ」「健康」「サポート」「感謝」等々のキーワードを基に今までの意識を変え、今からの会社経営に役立てることと思います。

(文責 高木 秀成)

佐世保支部 例会報告

日 時	12月16日(水) 18:00
会 場	JAさせぼホール
内 容	忘年例会
報 告 者	パネラー 佐世保公共職業安定所 職業相談部長 瀨本 和之 氏 長崎県立佐世保高等技術専門校 副校長兼指導第二課長 徳島 則吉 氏 佐世保実業高等学校 進路指導部 進路指導専門員 宮崎 正文 氏 尾崎陶器(株) 代表取締役 尾崎 彰宣 会員 (株)長崎地研 代表取締役 村山 隆之 会員 司会 I SOLUTION JAPAN 代表取締役 八並 学 会員



今回の佐世保支部忘年例会では、2部構成となりました。

第一部は、パネルディスカッションを開催しました。パネルディスカッションの内容は、中小企業を取り巻く若者の就職状況を話していただきました。まずは、ハローワークから中小企業を取り巻く環境と統計的な数字を話していただきました。次に村山さんからは、初任給を比較しながら、学生は会社を選ぶよと強くおっしゃっていました。次に実業高校から高校生の求人状況、県内外の就職状況を報告いただきました。専門校からは県内企業への就職状況を話していただきました。最後に尾崎さんから離職について話していただ



き、最後のまとめを話していただきました。

今回、パネルディスカッションを経て、我々同友会会員企業も、パッチワーク人事になりがちな採用を考える事が出来たと思います。幸い同友会には強い味方の経営指針があります。会員企業のみなさんも経営指針にも人事を考慮しながら作成されてみてはいかがでしょうか？

第二部では、天津包子館(八木さんの店)のおいしい料理に舌鼓しながら毎年恒例の忘年会を開催いたしました。松尾代表理事の挨拶から始まり、交流イベント委員会主催の大村市発で初のご当地アイドルグループ cherry cherry から優里奈さんと夏名季さんが来て

踊って歌っていただきました。途中で渡会さん、前川さん、村上さん、横石さんも一緒になって踊っていただきました。また、今回も誕生日を迎えた参加者はケーキとみんなからハッピーバースデーの唄をプレゼントされました。毎年のことながら、同友会の忘年会

は、活気ある忘年会となりました。これで来年もがんばれる気がします。

(文責 永末 勝宏)

北松浦支部 例会報告

日 時	12月9日(水) 19:00
会 場	松浦シティホテル
テ ー マ	(株)スタイルマートの経営戦略 ～現在創業60年、100年企業に向けての経営戦略と事業承継～
報 告 者	(株)スタイルマート 代表取締役 堤 直司 会員



12月例会を終えて胸に熱いなかにかがこみ上げてきました。優しく、穏やかな堤さんが熱く語っていただきました。

北松地区では知らない人がいないくらいのライフス



タイルマーケットという有名家具屋、そんな会社の経営方針、将来のビジョン、そしてこの会社をどういうふうに通承していくか細かく明確に計画を立てていました。その語り口は自信に満ちあふれており、しっかりと勉強して、様々な経験をしてきたからこそ、こんなに自信を持って語ることができ、アドバイスができるのだと感じました。

また尊敬する偉人の言葉や先代の考え、そして自分の考えをミックスさせ、経営に活かしていることは素晴らしい、経営者なら誰もが勉強になり熱くなる例会でした。

(文責 坂野 弘樹)

五島支部 例会報告

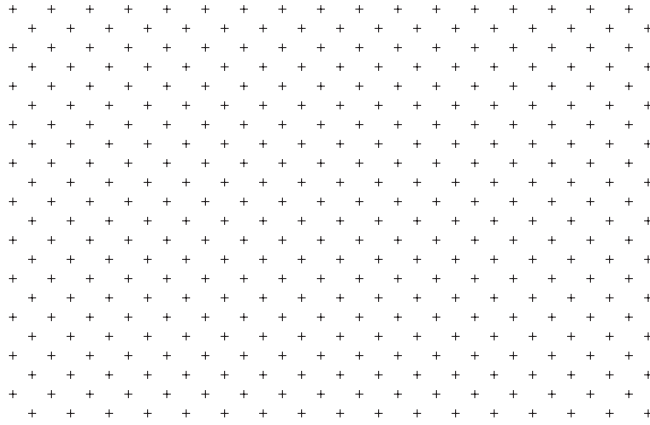
日 時	12月18日(金) 18:30
会 場	観光ビルはたなか
内 容	忘年例会

今月は、盛大に忘年例会を行いました。辻支部長による開会あいさつの後、和田副支部長の乾杯で宴がスタート。アトラクションでは、会員のお店の商品を持ち寄ってビンゴ大会。農海産物、特産品、銘菓、電化製品など豪華な景品、楽しいひと時を過ごしました。また、会場が、お座敷ということもあり会員同士、お酒を酌み交わしながら、労をねぎらい、懇親を深めることができました。

五島支部ができて2年余りになりますが、会員拡大、毎月の例会など、課題があります。私たち中小

企業が発展していくことが、ひいては五島のためと、改めて確認できる会となりました。2次会、3次会と暮れていった会員の皆さん、お疲れ様でした。

(文責 設楽 誠)



青年経営者会 例会報告

日 時	12月22日(火) 18:30
会 場	草花洛
内 容	臨時総会



12月例会は毎年開催している臨時総会を行いました。議事の次期会長および役員を選考・承認では選考委員長の西村繁彦会員より現幹事長である橋本会員の自薦が報告され満場一致で承認されました。議事も滞りなく終了し、次期会長挨拶では「若い力が集まり積極的に活動していくことで、長崎同友会そして長崎経済を引っ張って行けるような青年経営者会にしていきたいと思います。」という熱い決意を述べられました。

その後行われた懇親会では松尾代表をはじめ三役の方々にもご出席いただき、青経に対する期待とエールの御言葉を頂戴し三役の方達との交流をはかる良



い機会ともなりました。美味しい食事とお酒に話も弾み大いに盛り上がった懇親会でした。

まだ5月に開催予定の定時総会までは任期がありますが、私も3期青年経営者会の会長として活動させていただき、三十周年記念事業や青年部連絡会など多くのイベントや交流をとおして人間として経営者としての器を磨くことが出来たことに感謝し、この素晴らしい青年経営者会をより一層発展させて下さるであろう橋本青経をサポートしつつ今後も同友会活動に邁進して行きたいと決意を新たにしました。

(文責 山口 善也)

第1回 景況調査報告会 開催報告

開催日：12月3日(木) 会場：同友会事務局



本年度から始めた景況調査、会員企業を対象に、業種や売上規模、社員数などを把握し、現状と課題を顕在化させ、会員企業の経営改善に役立つことを目的に、年4回(四半期毎)の実施予定でスタートしました。2015年は、8月(4～6月期)と10月(7～9月期)の2回、既に実施しています。

また、行政に対する政策提言・要望活動にも生かすことも目的としています。



そこで、この景況調査の内容を会員に周知することと、それに対する会員の意見や要望を聞きたいと思い、第1回となる景況調査報告会を開催しました。

分析・解説をお願いしている、長崎大学経済学部山口純哉准教授をお招きし、先生から調査概要、会員企業の売上高・経常利益・業況判断・資金繰りなどの業況判断指数(DI)の分析、経営上の問題点、現在重点をおいている取り組み、今後の課題などの解説があり、

先生の所感を含めたお話をいただきました。

会員企業の経営上の課題としては、人材不足、技術者の確保難などに関することが最も多く、現在と今後の重点を置いている取り組みは、新商品、新サービスの開発、新規受注の確保、付加価値の増大などが高い割合を占めています。

これを受けて、山口先生から、一部に改善の兆しが見られるかもしれないが、業況は依然として厳しいようだとの所感がありました。

参加した会員から、やはり「人」に関するものの現状

の課題や実態、今後、取り組みたいことなど意見が出され、活発に討論がなされました。

最後に、この景況調査の回答率を上げ、より会員企業の経営改善に資するよう、調査内容の絞り込みや、会員により知ってもらうこと、回答しやすい実施方法の検討などの改善提案があり、政策委員会として今後取り組んでいきたいと思いました。

(文責 政策委員長 宮田 正一)

青年経営者会 クリスマス事業 開催報告



12月23日に青年経営者会の有志で明星園と浦上養育院にお伺いし、ささやかではありますがクリスマスプレゼントを贈りました。

サンタの衣装を着た会員が「メリークリスマス!!」と登場して、一人ひとりにお菓子を手渡しました。

明星園では、寝る準備をしていた小さい子どもたちの部屋を訪れると、「本当にサンタさんが来た!」と大喜びで興奮していました。

みんなから笑顔をとくさんもらい、逆に私たちが勇気づけられました。私たちができることは小さなことですが、これからも続けていきたいと思います。

(文責 青年経営者会 幹事長 橋本 裕次郎)



鹿児島同友会 青年部例会 参加報告

開催日：12月16日(水) 18:00 会場：パレスイン鹿児島

テーマ：地方創生のカナメは元気な若者! ～地方に若者を残す使命を中小企業が担う～

9月の山梨青全交でも分科会報告をされた峯元さんは2005年にブンカ巧芸社に入社され、2008年に“5年後に社長交代”の約束を現会長と交わし必死に働かれました。しかし、その後リーマンショックの影響などで業績が悪化、リストラや給与カット・東

京営業所の閉鎖などを行っていた中、専務であった2007年に入会した同友会で経営理念の成文化や共同求人・社員共育などの学びに積極的に参加し、学んだ事を実践される中で、部署間の連帯の悪さを痛感。それを解消するため、2009年に委員会制度を導入



し、「自分たちの会社は自分たちの手で！」の合言葉のもと工場の3S活動や施工・教育マニュアルの作成、社内広報紙“BUNBUN”の発行など現在7つの委員会を作り活動されています。

委員会の成果として、「仲間意識が強くなった。」「他部署のことを考えるようになってきた。」「調和が取れてきた。」「改善や挑戦ができる。」「人が育っている。」など多くの成果を社員さんから聞くことが出来たそうです。社員自らが行動し会社を良くする活動の一つが委員会活動であり、それを一緒になって活動しサポートする峯元さんのボトムアップ経営を学んだ報告でした。

その後、「経営者と社員が信頼関係を築くために何が必要と考えますか？」というテーマでグループディスカッションを行い、私のグループではお互いが何を考えどのように進むべきかという事を共有するためにコミュニケーションを如何に上手く取るかという事が



重要ではないかという事でまとまりました。

懇親会では2017年に鹿児島で開催される全研へ向けて会員の増強に力を入れている鹿児島同友会らしく多くのオブザーバーが参加され、出席されていた倉橋組織強化委員長から全研へ向けての協力依頼もあり、多くの方達と交流することが出来ました。

例会前に行われた「第4回青年部連絡会九州・沖縄エリア会議」では、①来年に開催予定のエリア合同例会の開催場所や日時について協議され、毎年持ち回りで開催し、来年は福岡か熊本いずれかの県で開催することを決定。②今期の運営副委員を長崎から選出することとし協議のうえ報告する。③次回、青年部連絡会九州・沖縄エリア会議の開催場所を大分で検討することが確認されました。

(文責 青年経営者会 会長 山口 善也)

2015年度 全国事務局長会議および 新事務局長・次期事務局長候補研修交流会 参加報告

開催日：12月10・11日(木・金) 会場：東京同友会会議室

昨年に引き続き2回目の参加をさせていただきました。全国の事務局長、次長など56名の参加となり2日間大きな学びと気づきをいただく事ができました。

1日目は千葉同友会 逸見事務局長、石川同友会 柴事務局長から会員拡大、事務局業務改善の実践事例を報告いただき、中同協 広浜幹事長から「事務局長に求めるものとその水準」という問題提起をいただきました。逸見事務局長の実践事例からは①会員拡大は代表役員だけでなく組織として臨む ②新支部の設置を戦略的に展開する ③科学的に(数字的に)会員拡大を行うという3点を、柴事務局長からは①誰のための経営指針なのか ②正副代表理事、専務理事との連携 ③事務局長自らが人が生きる経営を実践するという3点を今回の学びとしていただきました。広浜幹事長からの問題提起では①会員一人ひとりに対して一番いい背中

の押し方 ②同友会運動における全課題の抽出 ③時間的、課題の空白をなくすため事務局指針に基づく考え方を実践する ④自己成長を図り、影響力を与える人になるという4点が私の中でキーワードでした。グループディスカッションでも発言しましたが、長崎同友会の増強を推し進めていくには空白地域の把握を行い、既存支部内でも企業数から割り出す会員目標など科学的に地域を見直し、新支部づくりを戦略的に行う事、また今期作成した事務局理念、事務局行動指針においてはつくったものの具体的な実践にはまだ結びついていないため、実践することを固く決意した1日目でした。

2日目は嘉悦大学 黒瀬先生から「情勢をどうみるか～中小企業の元気が日本の未来を開く」と題し問題提起をいただいた後、「情勢認識を高める」というテーマ

でのグループディスカッションを行いました。時代背景から下請企業市場の崩壊という報告があり、中小企業は下請からの脱却をすることで価格決定権を持ち、自ら仕事を創り出す“独立中小企業”とならないといけない。そのためには収奪問題、経営資源問題、市場問題の3つの側面から中小企業の立ち位置を検証されました。2014年度の中小企業白書にも掲載されていますが、中小企業の実質付加価値生産性上昇率は大企業の上昇率を上回っているものの取引力が弱いため付加価値を大企業に奪われることで結果的に収益性が低くなっているとのこと。この現状を打破するためにも経営戦略として反大量生産型高付加価値分野への進出を図り、大量生産ではない、等身大の需要を狙いワンツワンマーケティング、そして市場のつぶやきを情報として仕組化して収集する「共有化型組織運営」が大事だと提起いただきました。そしてこの独立中小企業(同友会としては21世紀型企業)のベースにあるものが「労使見解」つまり人間尊重の経営そのものだという事です。労使見解、人間尊重の経営は経済合理性が高く中小企業の独自市場をつくり、労働の自発性を高め経営力を強化する根底にあると黒瀬先生は強く断言されました。

経済用語の勉強が必要だと感じましたが、グループディスカッションでも事務局の経営指針にも労使見解の考えを注入し実践することの大切さと同時に、それぞれの会員企業が常に危機感を持つことで自社に、支部に、地域に何ができるのかという明確なビジョンが生まれるということ、事務局、とりわけ事務局長はその課題を整理し、役員と共に育ち、労使見解を踏まえ

た体现者の創出に力を注がないといけないという事を学びました。

2日目の午後から、新事務局長・次期事務局長候補の研修がありましたが、この時間が今回の集大成であった様に研修と感じます。事務局長の仕事は①高いビジョンを掲げる ②人材を創り育てる ③発展への仕組みをつくる、限定的ではありますが深い内容でした。同友会が地域の中でどのような存在になるのか、「運動家」「変革者」、そして「主体者」。同友会で運動していくことで自己成長を図ると同時に次の局員や役員の学び、共育ち、覚悟を持つことの意味を、まだ入り口の部分とは思いますが学ばせていただきました。以前福岡同友会の川畑事務局長に「事務局の仕事は変える事」という言葉をいただいたことがありましたが、当時はあまり理解できていませんでした。しかし今回の研修で、自分の中で何か形が見えたように思います。同友会は会員力によって会が担保されます。今までのそしてこれからの会員企業のために何ができるのかを考えると会員が増えないと社会から遅れてしまう。社会を変えるために常に新しい会員と出会い、広浜幹事長の「一人ひとりに対して一番いい背中を押す方」ができる仕組みづくりを、事務局長は常に考え、提起し、実践できる存在であるべきだと思います。

今後事務局体制を考える中で役割分担し、事務局理念、行動指針を実践し、会員企業、地域の発展のために少しでも寄与できるよう一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

(文責 事務局 峰 圭太)

第6回 九州・沖縄ブロック事務局員研修交流会 参加報告

開催日：12月4・5日(金・土) 会場：ホテル高千穂

テーマ：1日目 提起『『報連相』を学んで質の高い仕事をしよう』

講師／香川県ケアマネジメントセンター(株) 代表取締役 (株)合同経営 代表取締役
林 哲也 会員(香川同友会 副代表理事)

2日目 実践報告「同友会事務局として、私のシフトチェンジがあった時」

①大分同友会事務局 上田 清仁 氏

②宮崎同友会事務局 三戸 由紀 氏

③沖縄同友会事務局 宮城 道伸 氏

2年に一度ブロック内の各県持ち回りで開催されている研修会、今年は高千穂で開催され、2日間学ばせていただきました。1日目は香川同友会副代表理事の林さんから『『報・連・相』を学んで質の高い仕事をしよう』というテーマで実際のワークを行いながらの研修でした。

2日目は大分、宮崎、沖縄から「シフトチェンジが

あった時」というテーマで事例報告(事務局としてのそれぞれのターニングポイント)をいただき、グループディスカッションを行いました。

最後は、次回開催地ということで2日間のまとめをさせていただきましたが、このまとめを皆さんの前で発表することによって自分の中で2日間の学びや気づきが整理され、まとめと共に決意表明をさせていただ



きました。

1日目は真・報連相ということで質の高い仕事の進め方を学びました。日々会員の皆さんは「一生勉強」と学びを続けていますので、同友会運動のパートナーである事務局も学び続けることが必要です。今回の研修を「よかった」ということにとどめず目的思考を持って報連相を実践することを確認しました。ワークの中でも「コンセンサス」がありましたが、人は価値観が皆違い、バラバラですので総意を得る事は深い事です。その違いを認め、ゆるす(受容する)ことで質の高い報連相が可能になります。相手の立場に立ち一つ一つに意味や目的があることを理解し日々研鑽していくことを共有しました。

2日目のシフトチェンジですが、経験を積み、自分のキャパシティを拡げることと理解します。ギアを上げるとスピードが出ますがギアを上げた先に新しい引

き出しを創り経験を蓄積していく。その経験や知識を必要な時に必要な人に組み合わせて情報として提供できる事務局員を目指していくことを提起しました。事務局員が本気で、自分ごととしてとらえて運動に取り組む姿勢は必ず会員の目に映り、みている。同友会の体現者になれるよう、周囲への報連相を行い、自分の立ち位置、向かう先など、理念実現に向けて頑張っていくことを述べました。

最終的に、局員同士の絆を深め一つ一つの課題を解決し、一步一步到達していき、技術論だけの事務局員ではなく「真」事務局員として運動に携わっていくことを発表させていただきました。

香川同友会 林さんの「真・報連相」は「日本報連相センター (<http://www.nhc.jp.net/>) から検索できます。ご興味をお持ちの方はぜひご一読ください。

(文責：事務局 峰 圭太)



の共有化)で情報の共有化の深さを考えるといったものでした。

具体的な事例として、メールで伝えたつもりであってもそれは発信であって報告・連絡ではないことや、LINEで情報の共有をして既読がついたとしても、どの深さまで伝わっているかは分からないといったことには非常に思い当たることがありました。

また研修の中で何度も出てきたキーワードとして

1日目は香川同友会 副代表理事の林さんより、「真・報連相」についてワークを通しての研修を行いました。「真・報連相」とは、3つの視点(①環境・相手 ②自己 ③目的)で「手段(報連相)」を考え、3つの深度(①事実情報の共有化 ②意味や目的の共有化 ③気持ちや思いといった考え方の波長の共有化)で情報の共有化の深さを考えるといったものでした。

「中間報告」がありました。報告というと、一通りの業務が完了した後に言うイメージがありましたが、中間報告を行うことで、未然にトラブルを防ぐことにも繋がり、先のスケジュールを見据えた報告ができるので、仕事を段取りよくスムーズに進めることができるということを学びました。

2日目にはシフトチェンジがあった時をテーマに3名の実践報告がありました。3名に共通していたこととして、課題に直面した時に主体的に考えて行動する



ということがあり、日々の業務に追われることなく、先を見据えて行動することの大切を改めて気付くことができました。またグループディスカッションでは会員企業が良くなるためには事務局として何ができるのかといった話から、常日頃からの関係づくりが大切ということや事務局だからこそできる情報発信があるのではないかという意見があり、今の私の業務の中で何ができるのかというヒントをいただくことができました。

今回2日間の研修を通して、「何のために」といった「目的意識」を持つことが重要だということを改めて学ぶことができました。

この研修に参加をして、学んだことを活かし、長崎における同友会運動をより活発に進めていけるよう貢献したいと感じております。

(文責 事務局 田口 友廣)

中同協 e.doyu 担当者会議 参加報告

開催日：12月17日(木) 13:00 会場：東京同友会会議室

テーマ：e.doyu 管理担当者会議

e.doyu リニューアル後、初めてとなる e.doyu 管理担当者会議に参加いたしました。

まず初めに e.doyu の改修状況についての説明がありました。現在、改修に取り掛かっている箇所として①行事登録で反復(繰り返し)の予定を登録する機能 ②登録した行事に「主催グループ」を登録し、そのグループで行事を編集できる機能 ③タブレットでの閲覧の最適化 ④スケジュール機能の予定を outlook や google カレンダー等にて読み込む機能を近日中に実装する予定です。また、今後は旧 e.doyu ではできていたが今はできないといったものを優先して改修を行

います。それ以外に関しては保守の範囲での改修を予定しており、大掛かりな改修に関しては、四半期に一度 e.doyu 管理担当者会議で協議を行い、2016 年秋口から着手といったスケジュールになっております。

今後、新機能が実装された際には都度 e.doyu にてご報告いたします。また、e.doyu に関する改善要望がございましたら、長崎同友会事務局までご連絡下さい。宜しくお願いいたします。

(文責 事務局 田口 友廣)

会員活躍

長崎新聞 12月5日

独自の景況調査開始

県中小企業家同友会

会員の声 把握、発信

県を担当した山口純哉長崎大准教授は「全国的に景気は上向いているが、個別にはまだなのかもしれない」と語った。経営上の課題は、人材不足に関する回答が多く、重点を置く取り組みは「新規受注(顧客)の確保」「付加価値の増大」が目立った。会員は576人(11月1日現在)。1回目141社、2回目は134社が回答した。(田智農謙龍)

県中小企業家同友会(松尾慶一代表理事)は、会員企業を対象とする独自の景況調査を始めた。現状と課題を把握して経営改善を図り、行政に対する提言・要望活動にも生かす。宮田正一政策委員長は「中小企業の声をもっと伝えていきたい」と話している。前年同期と比べ景況が「改善」した企業から「悪化」した企業の割合を引いた業況判断指数(DI)は、第1回調査の2015年4～6月期でプラス1、第2回調査の7～9月期でマイナス2だった。ともに産業別では建設業、製造業、卸売・小売業で、規模別では従業員20人未満で、マイナス幅が大きかった。分

事務局企業訪問

年末のお忙しい中、大村支部(株)浮羽園の生野さんにお話を伺いました。



＜浮羽園のルーツ＞

大村市で造園工事業を営む生野さんは二代目として日々奮闘されております。先代のお父様は当初植木の販売を手掛けており、戦後復興の好景気において庭造り、整備の需要も高かった時代背景から業績も順調だったそうです。お父様が福岡県浮羽郡のご出身

で地元の植木の競りに都合がいいことから浮羽園という社名になったとのこと、生野さんも幼少の頃は学校からの帰宅後、直接植木の販売員となり、自分なりにアレンジした植木を販売しては“お小遣い”を手に入っていたそうです。

福岡ご出身の一家が大村に根差した経緯はここでは割愛しますが、それまでに至る経緯は人のつながりがあり、そのご縁で浮羽園は今でも大村を中心に造園、公共工事や一般家庭需要、高速道路周辺環境整備など多岐にわたって業務を展開されています。

＜事業承継 ～会社存亡の危機～ 青年会議所理事長＞

今年で51年目を迎える浮羽園。25周年の際には関係各社をお招きし盛大な周年パーティーをするなど順調な業績を残してきますが、バブルの崩壊と共に公共工事の減少等少しずつ業績も悪化していきます。その頃先代から事業承継の話をいただきますが同時期に大村青年会議所理事長就任の依頼も。会社の状況も決していいとは言えない中、お父様のご理解もありまずは自社の承継ではなく青年会議所の理事長を引き受ける事になります。青年会議所時代の話は何うと、会議も多く大変ではあったものの街づくりのため仲間と共に考え行動することで「社会は人の手によって創られている」「公共性を持った考え方」などを学ぶことができた当時の様子をにこやかに話されていました。

理事長職1年の任期を終えいよいよ事業承継し代表取締役として経営に携わるようになりますが経営のイロハもわからない、ただ数字が悪いという事は理解できる、といった日々が続きます。理事長退任後入会し



た同友会も在籍時に会社が倒産したら恥ずかしいと思い、何度も退会を考えたそうです。しかし周囲からは「だからこそ同友会が必要」と諭され、退会の道は選びませんでした。しかし会活動への参加も少なくなったそうです。日々の業務に追われながらも立て直しの兆しははっきりと見えない中、スポンサーの(株)双葉建設 益田智行さんから福岡同友会の北九州での経営理念策定セミナーに誘われ大村支部5名で参加され、その後同業で年齢も近い(株)琴花園 大塚真一さん(前大村支部長)から太宰府での経営指針策定セミナーと一緒に受けようとお誘いがありました。同友会へ参加する中で経営指針が大切と聞いてはいたものの、生野さんは具体的な必要性を感じていませんでしたがせっかくのお誘いということもあり、とりあえずという気持ちで参加されたそうです。3年分の帳簿を持参し委員の方の力を借りて共に経営指針を作り上げました。セミナー終了後、大塚さん、生野さん、講師を務められた福岡同友会の林田さんとお風呂に入っていた時生野さんの中で何かがんばれる気になったそうです。「指針ができたから、理念ができたからすぐ良くなることではないよ」と話された生野さんですが、指針作成の中で今までよりも真剣に向き合い、仲間のアドバイスをいただきながら考えを整理することで日々の仕事を整理でき気持ちに余裕が生まれたということは、私はやはり何かしらの化学反応があったのではないかと思います。

＜神様からの…＞

それから生野さんにとって、浮羽園にとって一つの転機が訪れます。ある一人の飛び込み営業マン、福岡の方だったそうですが今まであまりどの業者も携わらない国の公共工事に関する情報をいただいたのです。生野さんもとりあえず、といった気持ちで入札に参加しますがその工事を受注することができ、そこから3年程連続で、またその後もある程度定期的に受注できるようになりました。生野さんは「あの3年間は神様からのおこぼれ」と話されましたが私は話を伺う中でおこぼれではなく「必然的」だったのではないかと思います。同友会会員の話を愚直に聴き、取り入れること

は素直に取り入れ、それでも厳しい経営が続けている浮羽園にとって偶然とも思える一人の営業マンの情報は、浮羽園が結果的にその情報を生かす事ができた企業であったということと思います。

＜浮羽園の今後＞

「本当は経営者は社員や家族に対ししっかりとした方向性を示すべきだが、今は社員と家族を守ることで精いっぱい」と苦笑する生野さんですが「守る」という経営者としての責任を持たれています。以前は「生きる術」だった仕事観、今は「生きがい」になっています。『浮羽園は緑美事業を通じてお客様の「幸せ(笑顔)」を追及し皆様の「楽しい」を実現する企業』

進化させたいと話す浮羽園の経営理念は大村に限らず県内の色々な家庭の庭や公園といった緑がある場所で確実に芽吹き、その緑が人々を癒し育んでいくと心から願います。

(文責 事務局 峰 圭太)

【会社概要】

(株)浮羽園

長崎県大村市玖島3丁目546-5

電話：0957-52-6536

FAX：0957-52-3446

http://ukihaen.com/

長崎同友会ホームページリンク集 会員企業掲載募集

長崎同友会のホームページ (<http://www.nagasaki.doyu.jp>) 内のリンク集がリニューアルし、会員企業のホームページをリンク集に掲載できるようになりました。

掲載方法は2種類あります。

- テキストリンクでの掲載
- バナーリンクでの掲載

(※会員企業 HP に長崎同友会 HP のバナーリンクをお願いいたします。また、会員企業のバナーには社名を必ず明記して下さい)

ホームページのリンク申請ページ

(<http://www.nagasaki.doyu.jp/request>)

より、ぜひお申込み下さい。お待ちしております。





新商品

長崎さるくマツ

ダスキン栄進

TEL 823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎支部 出島地区会)

広告募集

< 4cm x 9cm >

複数月 割引	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
	3ヶ月	6,000 → 5,000

新入会員の皆さんです＜12月入会・復会＞

(敬称略)

＜入 会＞

支 部 名	長崎支部 浦上地区会		
氏 名	おがわ さとる 小川 悟		
企 業 名	(株)彩装建		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒852-8056 長崎市大宮町 6-6		
T E L	095-800-3437		F A X
業 種	建築塗装業		
企 業 P R	「街を彩る、心を彩る」をモットーにお客様に心から喜んでいただけるよう努力しています。		
スポンサー	吉澤 健		

支 部 名	長崎支部 浦上地区会		
氏 名	わだ みどり 和田 みどり		
企 業 名	(有)ドリーム企画		
役 職 名	代表取締役社長		
企 業 住 所	〒851-0301 長崎市深堀町 4-58-24		
T E L	095-895-3444		F A X
業 種	葬儀業		
企 業 P R	長崎市南部、野母崎地区で地域密着で葬儀社を営んで13年になります。地元とのつながりを大切にこれからも頑張っていきます。		
スポンサー	中村 政次		

支 部 名	長崎支部 浦上地区会		
氏 名	くりさき たかお 栗崎 貴子		
企 業 名	フラワーショップハートリーフ heart leaf		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒852-8105 長崎市目覚町 4-2-2F		
T E L	095-801-5828		F A X
業 種	生花・グリーン・プリザーブドフラワー販売・教室・カフェ(フラワーショップカフェ)		
企 業 P R	お客様に喜ばれるギフトを中心に、生花花束・アレンジ、生花スタンド(冠婚葬祭)、インテリアグリーン、プリザーブドフラワーなど取り扱っています。昨年オープンしたインテリアグリーンカフェでは癒しの空間で手作りフードなどを提供しております。		
スポンサー	初 穂隆		

支 部 名	諫早支部		
氏 名	たかせ よしひさ 高瀬 善久		
企 業 名	高瀬石材工業		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒854-0005 諫早市城見町 17-8		
T E L	0957-22-8612		F A X
業 種	石材加工業		
スポンサー	馬場 一信		

支 部 名	長崎支部 浦上地区会		
氏 名	やすい ただゆき 安井 忠行		
企 業 名	(同)HRC		
役 職 名	代表社員		
企 業 住 所	〒850-0801 長崎市八幡町 3-19 Mハウス1F		
T E L	095-828-7888		F A X
業 種	飲食・イタリアンピザレストラン「ZAC」運営・他イベント企画など		
企 業 P R	創業 40 周年のピザハウス「ZAC」を運営しております。その他イベント企画や広告などの業務をしております。宜しくお願ひ致します。		
スポンサー	飛田 精一		

支 部 名	島原支部			
氏 名	さの みつひろ 佐野 充宏			
企 業 名	ソニー生命保険(株) 長崎LPC第1支社			
企 業 住 所	〒850-0033 長崎市万才町 3-5 朝日長崎ビル 8F			
T E L	095-825-2311		F A X	095-825-2118
業 種	生命保険業			
企 業 P R	生命保険の「なぜ？」をわかりやすく説明します。			
スポンサー	横田 耕詞			

+++++

+++++

<復 会>

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	よしむら もとゆき 吉村 元志		
企 業 名	(株)ローレライセントラルホテル佐世保		
役 職 名	総支配人		
企 業 住 所	〒857-0872 佐世保市上京町 3-2		
T E L	0956-25-0001	F A X	0956-22-0221
業 種	ホテル		
企 業 P R	佐世保のまん中、各種で宴会・会議・ご宿泊にお気軽にご利用下さい。		
スポンサー	松尾 慶一		

支 部 名	長崎支部 浦上地区会		
氏 名	ひだ せいいち 飛田 精一		
企 業 名	(同) S・R・S		
役 職 名	代表社員		
企 業 住 所	〒852-8027 長崎市城山台 1-15-9		
T E L	095-861-5163	F A X	095-861-5163
業 種	厨房機器、エアコン販売・施工・メンテナンス		
企 業 P R	(同) S・R・S は街の冷蔵庫屋さんとして厨房機器やエアコンの販売からメンテナンスを行ないます。お客様と共に成長していく会社を目指してまいりますのでよろしくお願い致します。		
スポンサー	池田 繁隆・山口 善也		

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	わたがわ ひろし 綿川 洋		
企 業 名	スタイリッシュワーズ(有)		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒859-6101 佐世保市江迎町長坂 164-29		
T E L	0956-65-2540	F A X	0956-65-2244
業 種	美容業		
スポンサー	村山 隆之		

支 部 名	島原支部		
氏 名	うちじま のりよし 内島 範喜		
企 業 名	(株)内島材木店		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒855-0033 島原市新馬場町 894-1		
T E L	0957-62-2022	F A X	0957-62-2910
業 種	住宅資材販売業		
企 業 P R	住宅資材の販売から、古材・太陽光の販売まで手がけております。		
スポンサー	横田 耕詞		

支 部 名	北松浦支部		
氏 名	よしだ まさる 吉田 大		
企 業 名	木場田社会保険労務士事務所		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒857-0041 佐世保市木場田町 8-6 木竹ビル 2F		
T E L	0956-80-1219	F A X	0956-80-1220
業 種	社会保険労務士		
企 業 P R	平成 27 年 9 月に社会保険労務士事務所を開業しました。明るく、元気に、お客様が気軽に相談できる社会保険労務士を目指して頑張っていきます。よろしくお願いします。		
スポンサー	松永 いづみ		

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	おおたけやま ひろし 大竹山 浩		
企 業 名	(株)スマイル		
役 職 名	代表取締役社長		
企 業 住 所	〒859-3241 佐世保市有福町 4204-2		
T E L	0956-27-0710	F A X	0956-27-0711
業 種	OA機器販売		
スポンサー	村山 隆之		

投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数／約 500 字

●画像／歓迎します

□掲載／情報広報委員会にて選考

□投稿先／情報広報委員または同友会事務局まで

□メール／jimu@nagasaki.doyu.jp



折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に
に会員に配布するサービスを行っています。

毎月 10 日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月
15 日～20 日に行います。支部指定も出来ます。

A4 チラシ 1 枚 5 円です。**A3 チラシは 2 枚分**となり
ます。ご利用お待ちしております。

2月例会案内

●長崎支部 浦上地区会

日 時 2月24日(水) 18:30
会 場 ホテルニュー長崎
テ — マ 「がん」になったからこそできる事
～スナックのママがNPO法人を立ち上げた!!～
報 告 者 ラウンジ葵 代表者
吉村 市代 会員(佐世保支部会員)

千葉同友会千葉東支部参加型合同例会。

●長崎支部 出島地区会

日 時 2月17日(水) 18:30
会 場 メルカつきまち 5階ホール
テ — マ 未定
報 告 者 (株)office すえつぐ精一 代表取締役
末次 精一 会員

●大村支部

日 時 2月17日(水) 18:30
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ — マ 「事業承継後の経営戦略」
～巧みな経営計画ときめ細やかな人本経営～
報 告 者 (株)琴花園 代表取締役
大塚 真一 会員

多彩な事業を展開されている報告者は同時に事業承継者でもある。企業全体を見渡し、経営を行う報告者は全体を見渡しながらも、細やかな配慮を怠らない。人への配慮と経営のバランス感覚は若いころからの特異な経験から来るのか？多くの人が経験しないような人生をひも解きながら、その経営感覚、経営計画を伝えていただく。

●諫早支部

日 時 2月17日(水) 18:30
会 場 未定
内 容 未定

●島原支部

日 時 2月15日(月) 19:00
会 場 HOTEL シーサイド島原
テ — マ 経営体験報告
「思い・想い・念いが経営者の原点」
～思いついたら動く事が原点～
報 告 者 思想念グループ 会長
園田 義夫 会員

1978年 食材セットや高齢者向け弁当の宅配事業として(有)長崎ディナーサービスを創業。1987年(株)タクショクに社名変更。上場を目指して年商80億まで成長するが、首都圏での知名度向上と企業ブランドの壁が立ちはだかる。そんな時にワタミの渡邉美樹社長と出会い2008年7月M&Aを決意する。2009年ワタミタクショクをハッピーリタイアされた後に、現在の思想念グループで『喜びの創造』を理念に掲げ、常に「高齢者の為に」を念頭にフードサービスのプロとしてだけでなく、独自の施設内通貨を使った新発想のデサービス等、楽しく老後を過ごせるシニアライフサービスを展開。更に上を目指す園田会長の波乱万丈の経営体験報告と共に将来のビジョンを熱く語っていただきます。

●佐世保支部

日 時 2月19日(金) 19:00
会 場 佐世保市民会館(予定)
テ — マ 未定
報 告 者 Studio Dream インストラクター
関 ひろみ 会員

事業を始めるに思ったことや、大切にしているもの。

●北松浦支部

日 時 2月17日(水) 18:30
会 場 サンパーク吉井
テ — マ 「マイライフ」
～「波乱万丈な人生。その先に見えた本当に大切なもの。」～
報 告 者 Studio Dream Angel 代表者
金田 昭子 会員(長崎支部 浦上地区会)

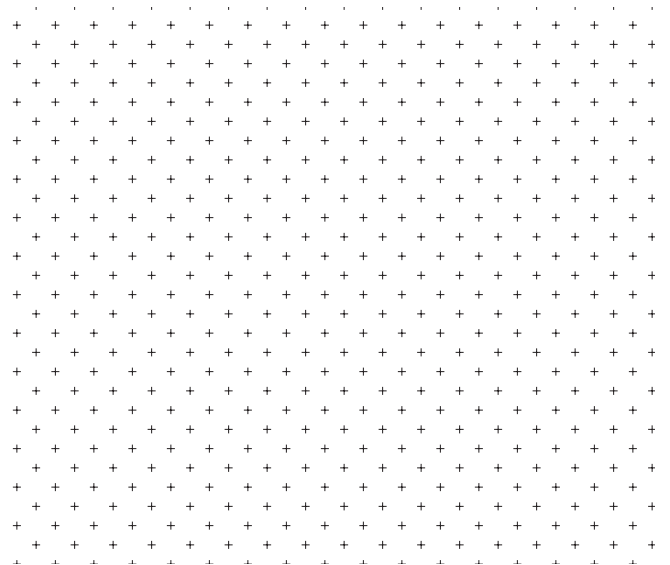
報告テーマ「マイライフ」サブテーマとして「波乱万丈な人生。その先に見えた本当に大切なもの。」を報告していただきます。我々経営者にとって「本当に大切なものは何か？」をあらためて考えるきっかけになるのではないのでしょうか？

●五島支部

日 時 未定
会 場 未定
内 容 未定

●青年経営者会

日 時 2月22日(月) 19:00
会 場 同友会事務局
内 容 来期の青年経営者会について



1月理事会 議事録 抜粋

1月6日(水) つくば倶楽部

開会挨拶－松尾代表理事

本年もよろしくお願いいたします。新年早々仕事が忙しい中ご参加いただきありがとうございます。厳しい経済状況の中、皆さんと一緒に乗り越えて行けたと思います。ポスターについても毎年継続事業として作成し、金融機関などに掲示いただくことで長崎同友会のブランディングを高めていきたいと思っています。中期ビジョンも2年目、確実に実践できるよう各委員会はよろしくお願いします。また2017年、2019年と全国大会もあります。仲間を増やしコミュニケーションをとり、協力し3月末まで各支部で立てられた増強の目標までなんとかお願いします。各支部手が届く数字だと思いますので4月の総会、700名で迎える事ができるようよろしくお願いします。

仲間づくりについて

1)入会・退会・取り下げの承認について－

11名の入会、1名の退会、1名の取り下げを承認

杉本仲間づくり委員長総括

600名を達成すると700名まで一気に届くような雰囲気があり、年末お忙しい中、皆さん熱心にとりくんでいただきありがとうございます。不安な面もありましたが皆さんの熱気が非常にありました。3か月前ぐらいから呼びかけをすべきだったと反省点も残りますが女性会員の呼びかけもあり、一つになったと思います。700名に手が届くように次期委員長にバトンを渡したいと思います。

(松尾代表より)

12月の全国の増強を見ると二桁増の中に長崎もあり、全国の会勢も45,000名を突破しています。長崎もこの勢いを継続してがんばっていきましょう。

協議・承認事項

1)2016年度に向けて

・2016年度予算案について

(今回提案分)

○リース費…事務局複合機

(三役会案)

見積もり一覧を確認。(株)オフィスサポート上原会員(出島地区会)を推薦。

→三役会案を承認。オフィスサポート社以外の会員には事務局からお礼と結果を報告する

・例会時に使用する名札について

→三役会案を承認。サンプルに関しては山口青経会長と事務局で詳細を詰める

・定時総会について

(前回理事会)

長崎での開催で決定

(今回提案分)

日程を4月15日(金)、場所をホテルニュー長崎、開始時刻を13:30とする。開始時間が早いため懇親会の立食もしくは着席については継続して検討する。記念講演者に関しては次回理事会で提案

→上記の案を承認

(以下本理事会報告分)

・2016年度活動方針(案)

→活動方針(案)を承認。4月の定時総会に上程する

・予算の打ち合わせについて石橋財務委員長より進捗報告
→石橋財務委員長より報告。今後詳細を詰め、随時提案する

・県委員会、支部の活動方針案を2月理事会時に提案いただく

→来期の活動方針(案)をもとに、県委員会、支部活動方針を2月理事会で提案いただく

・名簿・活動の手引き、ポスター作製について

→ポスターは事務局へ納品済み。また各金融機関へはお願いの文書を郵送済み(長崎銀行は訪問)。その他各支店への納品については各支部(地区会)役員会時事務局よりリストを提出し、各支部で担当いただく。また会員用のポスターに関しても役員会もしくは例会時に事務局より持参し、参加していない会員には支部で担当いただき配布いただく(2015年11月理事会決議事項)。名簿情報に関しては本理事会終了後案内文を発信する

→ポスターに関して各支部の行政、団体等へも配布いただくため余分に支部へ持参する。

・2016年度県人事について

(県委員会の進捗)

例会(山口憲男会員)、経営・労務(宇土会員)、情報広報(山口善也会員)、仲間づくり(西山展司会員)、共育(土井委員長留任)、ビジョン(山口委員長留任)、女性部会・障がい者問題担当(中村委員長留任)、青年経営者会(橋本裕次郎会員)

上記の委員長を承認→総会上程

2)情報広報委員会からの提案について

→e.doyuの掲示板掲載基準の中に「原則会員自身で行い」という「原則」を追記することを承認。また議案書にe.doyuのマニュアルを掲載することを承認

3)経営・労務担当委員会の名称変更について

来期から中同協に倣い、「経営労働委員会」に変更することを承認

※経営労働委員会に関しては、もともと「労働委員会」という名称で労使見解を学び、広げ深める運動を行っていたベースに、経営指針の取り組みが盛んになったことから「経営労働委員会」に名称変更があったとのこと(中同協に確認)

報告・連絡事項

1)12月県本部・各委員会・各支部・各地区会等の活動状況について

2)例会について(更なる例会の充実をめざして)

3)中同協 主要行事の紹介

4)賀詞交歓会について

【賀詞交歓会 出席状況】 (1月4日 15時現在)

	長崎	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
会 員 数	198	67	70	53	124	47	25	584
出 席	50	15	8	10	17	4	2	106
欠 席	58	25	33	18	50	18	8	210
未 返 信	91	27	30	25	57	25	15	270
オ ブ 出 席	5							5

※来賓３０名
(前回理事会までの決定および最終確認事項)
２０１６年１月１３日(水)１７：００～サンプリエールで
開催。会費４,０００円。佐世保支部：江口会員、野田会
員に空手の型を演じていただく。懇親会は着席とする。

５)第２２回経営フォーラムDVD販売について
例会時手渡しの場合１,０００円、郵送(ゆうメール)の場
合１,５００円で販売する(３つの分科会、記念講演セット)

６)１２月３日(木)景況調査報告会開催報告(出口支部長)
→２回分の景況調査における報告をいただいたが回答数が
少ないため長大山口先生もやりにくかったと思う。今後
設問の内容を検討し、精度を高める方針と聞いているの
でよろしくお願いします。とにかく回答数をあげるべく
皆様の協力をよろしくお願いします。
→(峰事務局次長)１月実施分までは今までと同じ内容で発
信します。１月中旬以降、山口先生と打ち合わせを行い、
次回以降の内容については精査する方向

７)１２月４・５日(金・土)九州・沖縄ブロック事務局員研
修交流会参加報告(峰事務局次長・田口事務局員)
→(峰事務局次長)普段の報連相ではなく「真」報連相という
ことで香川同友会の林副代表理事から学びを得た。目的
意識を持った報連相で質の高い仕事ができるよう業務に
生かしていきたい
→(田口事務局員)普段身近にある報連相だが、それぞれに
伝わる深度があるということを学んだ。相手の立場に
立った報連相を心がけ、業務に生かしていきたい

８)１２月１０・１１日(木・金)全国事務局長会議参加報告(峰
事務局次長)
→会員一人一人に合った背中への押し方、科学的(数字)に物
事を考え戦略的に増強を行う、変革者、運動家として事
務局長が高いビジョンを掲げるなど非常に勉強になった

９)１２月１７日(木)新 e.doyu 業務説明会参加報告(田口事
務局員)
→今回は保守の範囲内で随時改修を行う。秋以降また委員
会で詳細を検討し随時改修を行う予定。不具合や質問等
があれば事務局までお問い合わせください

１０)１２月２４日(木)TPP説明会参加報告(峰事務局次長)
→今回は輸出することのメリットのみ語られデメリット部
分の説明がなかった。知識としてまだ浅いため、今後学
びを深め随時情報を発信していきます

１１)第２３回経営フォーラム開催日について会場の関係上、
１０月２０日(木)を１０月６日(木)へ変更
→上記１０月６日(木)に変更することを確認

１２)中同協赤石顧問の件
→赤石顧問の体調がすぐれないことから有志によるメッ
セージを集めます。ご希望があれば１月いっぱいをめど
に事務局にお送りいただき中同協経由で赤石顧問にお渡
ししますのでよろしくお願いします

１３)３カ月間会費滞納者について－大村支部の会員１名を
確認(１月１２日振込予定)

１４)その他

留意事項

１)２０１７年中同協役員研修会について－５月開催予定。
今後は代表者会議で進捗を協議する
→大村で開催することを決定(２０１５年１１月理事会)

２)２０１９年中小企業問題全国研究集会(全研)について
ニュー長…立食１０００名、椅子８００名、
分科会対応約５室
ベストウェスタン…立食１０００名、椅子９００名、
分科会対応最大６室
※中同協確認事項最大１０００名(上限を設ける)でも全国
大会開催可能
→長崎市で開催することを決定(２０１５年１１月理事会)

閉会あいさつ－金井副代表理事
年始と忙しいという事もあるかと思いますが出席者が少な
い事が残念です。しかし杉本委員長の熱気や情報広報委員
会からの提案など情熱や心遣いがあらわれたいい理事会
だったと思います。会勢もほぼ６００名となり勢いがある
と思います。皆さん、色々な仕事や行事を抱え忙しいとは思
いますがその中で理事として自分の中で同友会の優先順
位を上げていただき、同友会をけん引していくという意気
込みで今年もお願いしたいと思います。本日は大変お疲れ
様でした。

次回日程…２月４日(木) 場所：つくば倶楽部

会員消息

会 員 数 (１月１日現在)

	長崎	(浦上)	(出島)	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	252	138	114	81	81	60	141	55	30	700
期首	198	109	89	64	63	46	111	45	23	550
現在	197	111	86	67	70	53	124	47	25	583

退 会 者 (敬称略)

会 員 名	会 社 名	支部・地区会名	入会年月
橋 本 桂 子	橋本興産(株)	長 崎 ・ 出 島	2002年12月